

## まちづくり交付金評価委員会審議のまとめ

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	齊藤 庸平〔兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 教授〕 〔兵庫県立淡路景観園芸学校 教授〕	第1回 平成21年11月30日	都市計画課	南あわじ市まちづくり交付金評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	金崎詳継 庄田自治会長 西村英也 倭文団地自治会長 北谷雅良 特定非営利活動法人ふるさと応援隊理事長 山家隆司 倭文庄田朝市代表				

審議事項 1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	指標1:生活環境の満足度を計測するため、住民満足度アンケートを実施しているが、アンケート回収件数が24件と倭文庄田地区の人口から比較すると少ない。このことから、道路事業が平成22年3月に完了後、フォローアップとして、全世帯を対象に住民満足度アンケートの実施を求める意見があった。
	成果の評価	特になし。
	実施過程の評価	特になし。
	効果発現要因の整理	特になし。
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案の公表に対して市民からの意見がなかったことから、今後、広く市民の意見を聴くために、周知の仕方を工夫するべきであるとの意見があった。
	その他	特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは概ね妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	今後、良好なまちづくりを展開していくうえで、地域住民と行政が協力して、よりきめ細かな地域コミュニティ意識の醸成が必要であるとの意見があった。
	フォローアップ	その他の数値指標1:居住人口のフォローアップについては、行政区の見直しがあったことから、人口集計に気を付けて確定値を出すようにとの意見があった。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	まちづくり交付金事業の公営住宅(しづおり第2団地)整備完了に伴い、新たに、しづおり団地に自治会(倭文団地自治会)が結成され、地域コミュニティ活動を円滑に行えるようになったとの意見があった。	